

子宮頸がん予防ワクチン

子宮頸がん予防ワクチン(=HPV ワクチン)を憶えていますか。子宮頸がんは進行してしまうと女性の一生を左右する過酷な病気です。日本では毎年約 1 万人が子宮頸がん罹患し、約 2900 人が死亡しています(1)。

子宮頸がんの大きな原因はヒトパピローマウイルス(=HPV)の感染であることがはっきりしています(2)。つまりワクチンで予防可能ながんなのです。今から 8 年前の 2010 年、厚生労働省のワクチン接種促進事業を受けて市町村による接種事業助成が始まりました。接種率は 2012 年に約 70%にまで上昇し、2013 年 4 月には定期予防接種に指定されました。

ところが同年 5 月の新聞報道をきっかけに、接種後の体の痛みなどがワクチンと直接関係するのではないかとマスコミから問題視され、6 月には厚生労働省から接種勧奨の差し控え通達が出されました。ここからは急激に接種率が落ち、2015 年には 1%以下にまで低下してしまいました(3)。

これに対し日本産科婦人科学会はワクチンの効果と安全性に関する調査委員会を設置して検討した結果、2015 年 8 月、「HPV ワクチン接種後に生じた症状に対する診療の手引き」を発行して診療体制を整えるとともに、「世界の中で日本だけが、若い世代がワクチンによるがん予防の利益を受けられません」と接種勧奨再開を強く要望する見解をホームページに記載しました(4)(5)。世界各国では 2017 年までに 2 億 7000 万回の接種が実施されています(6)。

2015 年 12 月、名古屋市内の若年女性 7 万人と対象とした研究結果がまとまりました。名古屋スタディとよばれるこの研究によると、様々な症状について、ワクチン接種した人たちと、していない人たちとの間に発生率に差がありませんでした(7)。

以上から薬剤である以上、副作用、副反応を全くのゼロにすることはできませんが、とりわけ子宮頸がん予防ワクチンが危険な薬剤ではない、ということが言えます。「がんにかからなかったこと」がワクチン接種の有益な結果であるため、対象となる若年女性の方々には、ワクチンの重要性を御理解してもらいほかにありません。この問題にずっと取り組まれている医師でジャーナリストの村中璃子先生著「10 万個の子宮」には、この問題の本質が判りやすく述べられており、参考になると思います(8)。

参考文献

- (1) 国立がん研究センター がん登録・統計 最新がん統計
https://ganjoho.jp/reg_stat/statistics/stat/summary.html
- (2) 日本産科婦人科学会 産科・婦人科の病気・子宮頸がん
http://www.jsog.or.jp/modules/diseases/index.php?content_id=10
- (3) Hanley SJ, et al. HPV vaccination crisis in Japan. Lancet. 2015;385:2571
- (4) HPV ワクチン接種後に生じた症状に対する診療手引き 日本医師会/日本医学会
2015. 8

- (5) 子宮頸がん予防ワクチン（HPV ワクチン）接種の勧奨再開を求める声明
日本産科婦人科学会 2015. 8. 31
http://www.jsog.or.jp/modules/statement/index.php?content_id=14
- (6) Safty update of HPV vaccines Extract from report of GACVS meeting of 7-8 June 2017, published in the WHO Weekly Epidemiological Record of 14 July 2017
http://www.who.int/vaccine_safety/committee/topics/hpv/June_2017/en/
- (7) No association between HPV vaccine and reported post-vaccinationsymptoms in Japanese young women: Results of the Nagoya study Sadao Suzuki*, Akihiro Hosono
Department of Public Health, Graduate School of Medical Sciences, Nagoya City University, 1 Kawasumi, Mizuho-cho, Mizuho-ku, Nagoya 466-8601, Japan
- (8) 10万個の子宮 村中璃子 2018. 02. 07 平凡社



【産婦人科診療部長 鏡 一成】

